

令和5年度の広島県における生徒指導上の諸課題の現状について

1 要旨・目的

文部科学省が、「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」を公表したことを受け、本県の状況を取りまとめた。

2 現状・背景

児童生徒の問題行動等について、広島県内の状況を調査・分析することにより、学校における生徒指導上の諸課題の改善に向けた取組の充実を図り、児童生徒の問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応につなげていく。

3 概要

(1) 調査対象

県内の国公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校・中等教育学校

(2) 調査期間

令和5年度

(3) 調査結果

別紙のとおり

(4) 課題分析

- 令和5年度は、暴力行為の発生件数、いじめの認知件数及び不登校児童生徒数、中途退学者数のいずれにおいても前年度と比較して増加している。
- 暴力行為の発生件数が増加した要因については、教職員が児童生徒の小さな変化も見逃さず、丁寧に関わり、軽微な段階で把握し、適切な指導・支援を講じてきたことが、発生件数が増加したことの要因であると考えている。
- 暴力行為の内訳を見ると、対教師暴力、生徒間暴力、対人暴力、器物損壊の中で、特に器物損壊が前年度比で増加している。
- 暴力行為の増加の要因について、市町教育委員会からの聞き取りによると、人間関係、学習のつまずき、家庭環境などが起因する不安や悩み、ストレスがきっかけとなり、感情をコントロールすることができず、校内の掲示物に傷を付けることや、机や壁に自分自身を傷付けることを書いたり、他者を誹謗中傷することを書いたりするなどの行為が増加傾向にあり、いじめ等を未然に防止することを目的として積極的に計上したことが挙げられた。

- 暴力行為における加害児童生徒の状況を見ると、小学校では高学年で、中学校、高等学校では1年生において発生率が高くなっている。
- いじめの認知件数は増加している。各学校におけるいじめの発見のきっかけは、「本人の訴え」「保護者の訴え」が増加しており、計画的、定期的な面談やスクールカウンセラー等の専門家との連携により、安心して相談できる教育相談体制が機能していることが、積極的な認知につながっていると考えている。
- 不登校児童生徒数は、全校種で増加している。増加の要因について、市町教育委員会からの聞き取りによると、学校において、特別な配慮を必要とする児童生徒に対する早期からの適切な指導や必要な支援が十分でなかったこと、また、保護者の不登校に対する考え方の多様化、生活環境の変化等が影響しているなど、多様なものが挙げられていることから、個々の状況に応じたきめ細やかな支援が必要である。

(5) 今後の対応

- 暴力行為については、発生率が高い傾向にある小学校高学年では「自分自身が大切にされている」と児童が実感できる教育活動の充実を図ること、中・高等学校1年生では、環境の変化が暴力行為増加の要因と考えられるため、個々の状況に応じた切れ目のない支援につなげるための情報共有や、環境の変化に伴う不安等の解消に向けた取組等を支援する。また、課題に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家を加えた校内支援チームを編成することや、関係機関等と連携し、課題が生起する背景を丁寧に探ることや、児童生徒一人一人の特性を踏まえた、計画的・組織的・継続的な指導・支援を行う。
- いじめについては、いじめが生まれる構造といじめの加害者の心理を明らかにしたうえで、全ての児童生徒が「いじめに向かわない」態度を身に付けるような働きかけを生徒指導はもとより、各教科での学習、道徳科や特別活動などを通じて、いじめの未然防止に係る取組の一層の充実を図るとともに、直接、相手に危害を加える行為については、事案の軽重に関わらず、毅然とした対応を行い、必要に応じて、警察等関係機関との連携を行うように指導していく。
- 不登校の未然防止と、不登校等児童生徒の社会的自立への支援に向け、多様な学びの場の選択肢の一つとしてSSRやスクールエスを設置して支援を行っているところであり、これまで積み重ねてきた配慮が必要な児童生徒への適切な指導や必要な支援、保護者との共通理解、早期の段階での外部の専門機関との連携の在り方などの知見を県内の各学校、市町教育支援センターへ広く普及していく取組を、一層充実させていく。
- また、これまでの取組をより充実させていくことに加えて、誰もが大切にされると感じられる安全・安心な学校風土・学級風土の醸成、児童生徒が「学んでみたい」、「分かる・できる」を実感できる授業づくりなど、新たな不登校を生じさせない取組を重視し、引き続き、不登校等児童生徒の社会的自立を支援していく。

4 その他（関連情報等）

県ホームページ

令和5年度の広島県における生徒指導上の諸課題の現状について

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/r05syokadaitop.html>

令和5年度の広島県における生徒指導上の
諸課題の現状について

令和6年11月

広島県教育委員会

目 次

令和5年度の広島県における生徒指導上の諸課題の状況について（概要）	1
生徒指導上の諸課題の年次推移（R元年度～R5年度）	2
国公私立小・中・高等学校（全日制・定時制・通信制）における暴力行為発生件数等の年次推移（R元年度～R5年度）	4
国公私立小・中・高等学校（全日制・定時制・通信制）・特別支援学校におけるいじめ認知件数等の年次推移（R元年度～R5年度）	5
国公私立小・中学校における長期欠席者数等の年次推移（R元年度～R5年度）	6
国公私立小・中・高等学校（全日制・定時制）における不登校児童生徒数等の年次推移（R元年度～R5年度）	7
国公私立高等学校（全日制・定時制・通信制）における中途退学者数等の年次推移（R元年度～R5年度）	8

※小学校には義務教育学校前期課程、中学校には義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程、高等学校には中等教育学校後期課程を含む。以下同様。

令和5年度の広島県における生徒指導上の諸課題の状況について（概要）

1 暴力行為の発生件数

- (1) 国公立小・中・高等学校（全日制・定時制・通信制）の合計は3,920件で、前年度と比較すると383件（10.8%）増加した。
- (2) 校種別に前年度と比較すると、小学校では2,454件で211件（9.4%）増加、中学校では1,270件で111件（9.6%）増加、高等学校では196件で61件（45.2%）増加した。
- (3) 令和4年度（3,537件）のピークと比較して、383件（10.8%）増加した。
- (4) 小学校において7年連続増加した。

2 いじめの認知件数

- (1) 国公立小・中・高等学校（全日制・定時制・通信制）・特別支援学校の合計は6,429件で、前年度と比較すると468件（7.9%）増加した。
- (2) 校種別に前年度と比較すると、小学校では4,400件で171件（4.0%）増加、中学校では1,827件で272件（17.5%）増加、高等学校では190件で27件（16.6%）増加、特別支援学校では12件で2件（14.3%）減少した。
- (3) 平成30年度（7,435件）のピークと比較して、1,006件（13.5%）減少した。

3 長期欠席者数

- (1) 国公立小・中学校の合計は11,948人で、前年度と比較すると416人（3.4%）減少した。
- (2) 校種別に前年度と比較すると、小学校では5,199人で318人（5.8%）減少、中学校では6,749人で98人（1.4%）減少した。
- (3) 令和4年度（12,364人）のピークと比較して、416人（3.4%）減少した。

4 不登校児童生徒数

- (1) 国公立小・中・高等学校（全日制・定時制）の合計は10,764人で、前年度と比較すると1,634人（17.9%）増加した。
- (2) 校種別に前年度と比較すると、小学校では3,380人で621人（22.5%）増加、中学校では5,362人で684人（14.6%）増加、高等学校では2,022人で329人（19.4%）増加した。
- (3) 令和4年度（9,130人）のピークと比較して、1,634人（17.9%）増加した。
- (4) 小学校では8年連続、中学校では10年連続増加した。

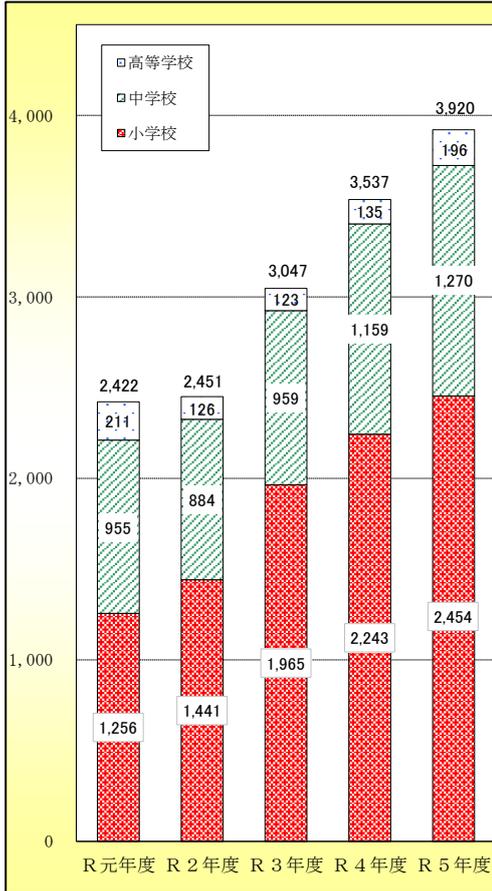
5 中途退学者数

- (1) 国公立高等学校（全日制・定時制・通信制）の合計は1,013人で、前年度と比較すると125人（14.1%）増加した。
- (2) 平成18年度（1,870人）のピークと比較して、857人（45.8%）減少した。

生徒指導上の諸課題の年次推移（R元年度～R5年度）

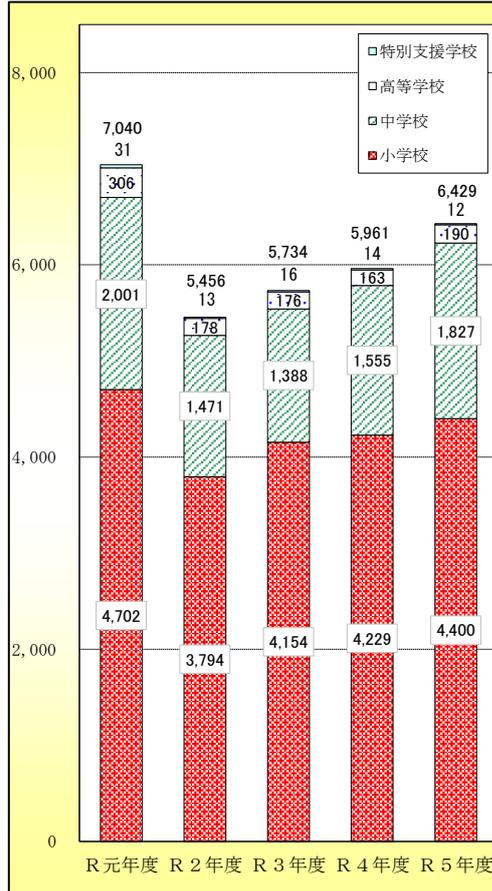
1 暴力行為の発生件数（件）

国公立小学校、中学校、高等学校（全日制・定時制・通信制）の合計



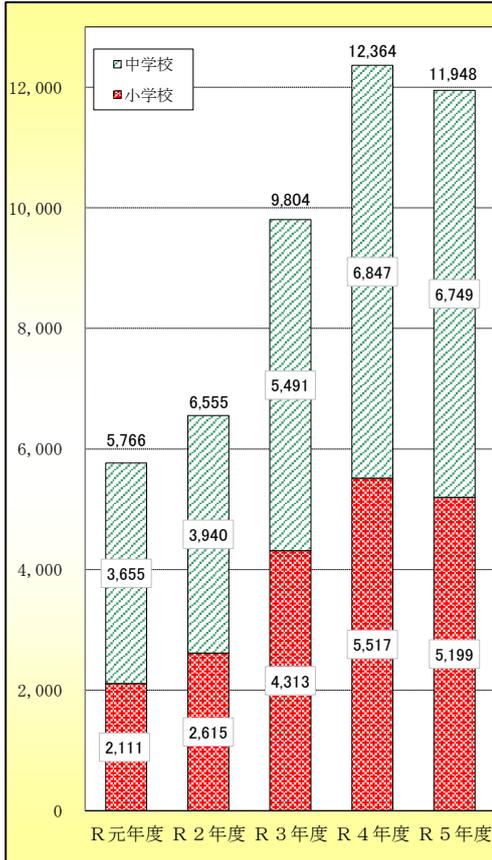
2 いじめの認知件数（件）

国公立小学校、中学校、高等学校（全日制・定時制・通信制）、特別支援学校の合計



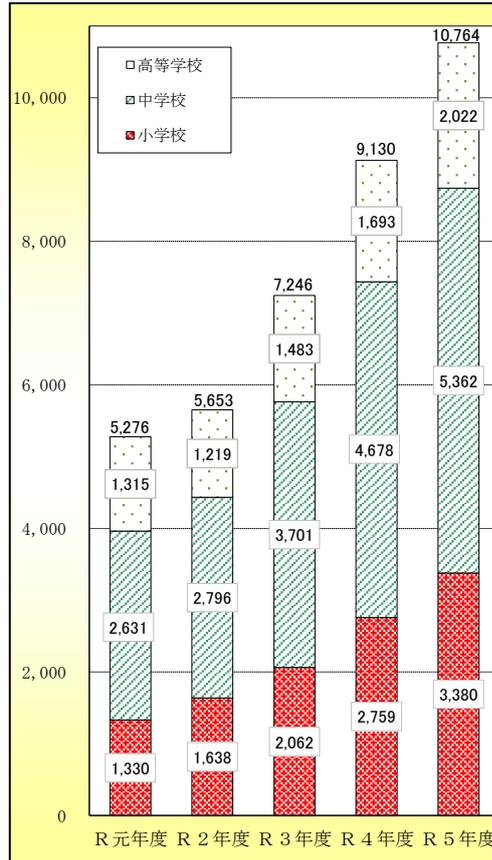
3 長期欠席児童生徒数（人）

国公立小学校、中学校の合計



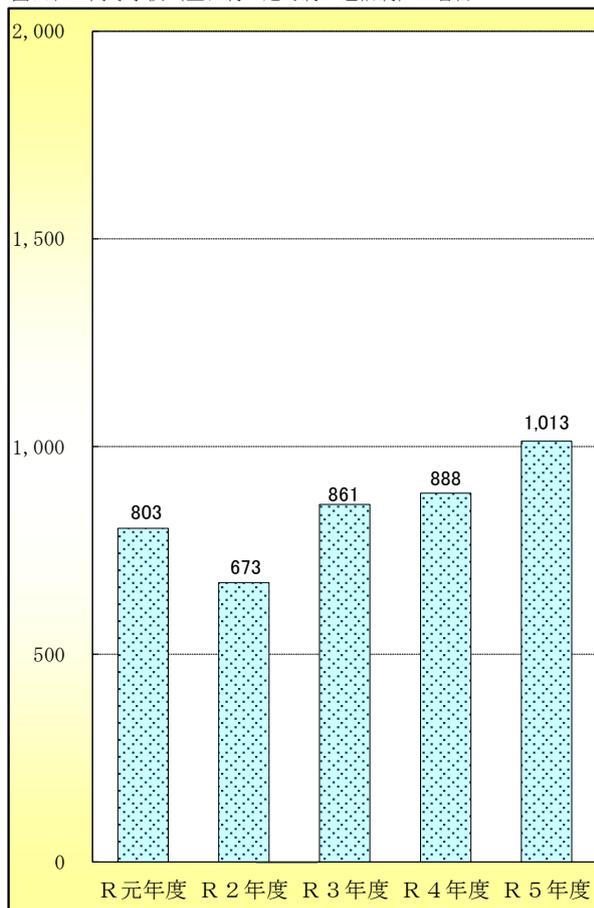
4 不登校児童生徒数（人）

国公立小学校、中学校、高等学校（全日制・定時制）の合計



5 中途退学者数（人）

国公立高等学校（全日制・定時制・通信制）の合計



本県の国公立学校における生徒指導上の諸課題のこれまでのピークとの比較

区分	これまでのピーク		令和5年度	増減	
	年度	発生（認知） 件数・人数	発生（認知） 件数・人数	発生（認知） 件数・人数	割合 $(b-a)/a \times 100$
		a	b	b-a	
暴力行為	令和4年度	3,537件	3,920件	383件	10.8%
いじめ	平成30年度	7,435件	6,429件	△1,006件	△13.5%
長期欠席	令和4年度	12,364人	11,948人	△416人	△3.4%
不登校	令和4年度	9,130人	10,764人	1,634人	17.9%
中途退学	平成18年度	1,870人	1,013人	△857人	△45.8%

※国公立の小・中・高等学校での暴力行為、いじめの調査は平成18年度から実施

※国公立高等学校の不登校の調査は平成16年度から実施

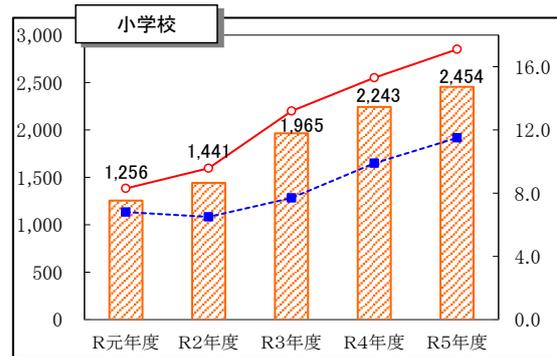
※国公立高等学校の中途退学の調査は平成17年度から実施

暴力行為

国公立小・中・高等学校（全日制・定時制・通信制）における暴力行為発生件数等の年次推移（R元年度～R5年度）

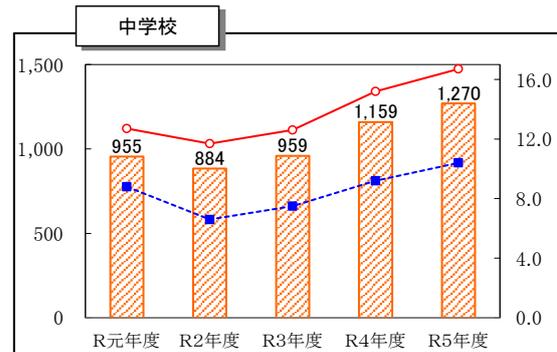
小学校

区分	発生件数		1,000人当たりの発生件数
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)
令和元年度	1,256	8.3	6.8
令和2年度	1,441	9.6	6.5
令和3年度	1,965	13.2	7.7
令和4年度	2,243	15.3	9.9
令和5年度	2,454	17.1	11.5



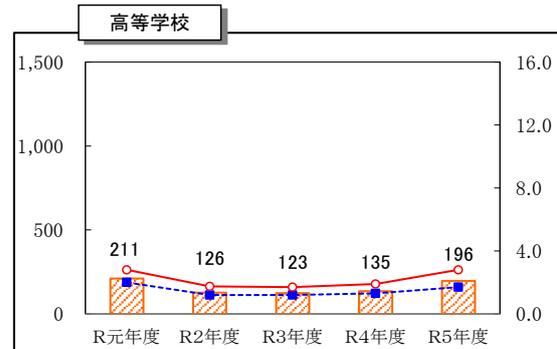
中学校

区分	発生件数		1,000人当たりの発生件数
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)
令和元年度	955	12.7	8.8
令和2年度	884	11.7	6.6
令和3年度	959	12.6	7.5
令和4年度	1,159	15.2	9.2
令和5年度	1,270	16.7	10.4



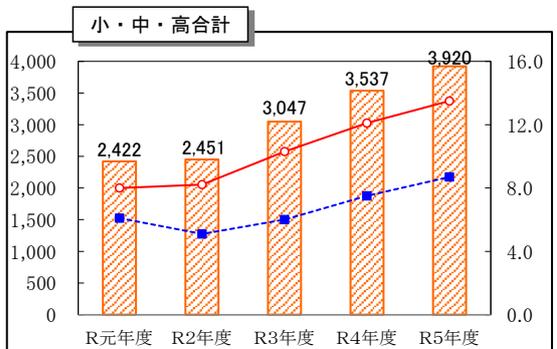
高等学校

区分	発生件数		1,000人当たりの発生件数
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)
令和元年度	211	2.8	2.0
令和2年度	126	1.7	1.2
令和3年度	123	1.7	1.2
令和4年度	135	1.9	1.3
令和5年度	196	2.8	1.7



小・中・高合計

区分	発生件数		1,000人当たりの発生件数
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)
令和元年度	2,422	8.0	6.1
令和2年度	2,451	8.2	5.1
令和3年度	3,047	10.3	6.0
令和4年度	3,537	12.1	7.5
令和5年度	3,920	13.5	8.7



※ 凡例共通

- 広島県（国公立）〈発生件数〉
- 広島県（国公立）〈1,000人当たりの発生件数〉
- 全国（国公立）〈1,000人当たりの発生件数〉

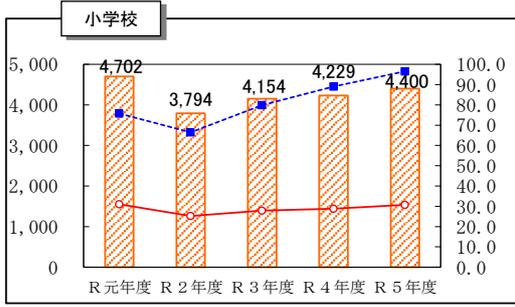
(注) 1,000人当たりの発生件数は、小数第二位を四捨五入している。

いじめ

国公立小・中・高等学校（全日制・定時制・通信制）・特別支援学校における
いじめ認知件数等の年次推移（R元年度～R5年度）

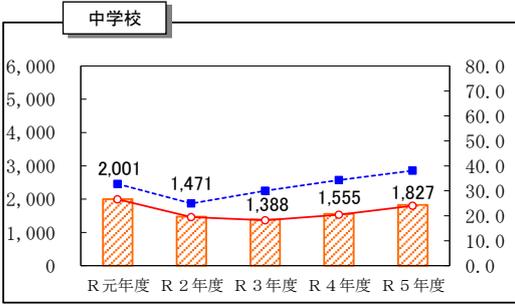
小学校

区分	認知件数		1,000人当たりの認知件数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)	全国 (国公立)
令和元年度	4,702	31.0	75.8	
令和2年度	3,794	25.2	66.5	
令和3年度	4,154	27.9	79.9	
令和4年度	4,229	28.9	89.1	
令和5年度	4,400	30.7	96.5	



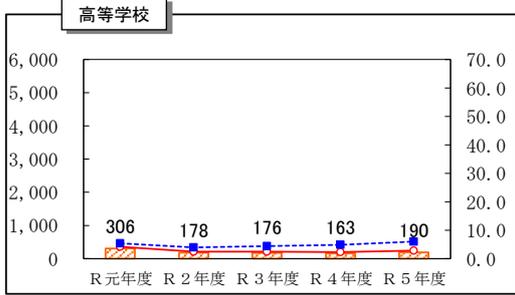
中学校

区分	認知件数		1,000人当たりの認知件数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)	全国 (国公立)
令和元年度	2,001	26.6	32.8	
令和2年度	1,471	19.5	24.9	
令和3年度	1,388	18.2	30.0	
令和4年度	1,555	20.4	34.3	
令和5年度	1,827	24.0	38.1	



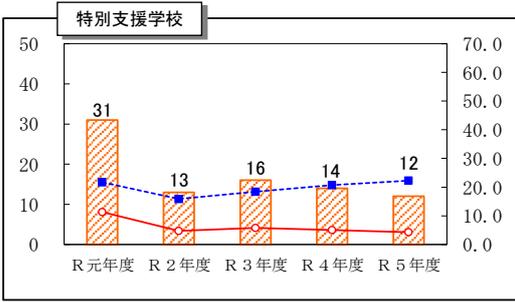
高等学校

区分	認知件数		1,000人当たりの認知件数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)	全国 (国公立)
令和元年度	306	4.2	5.4	
令和2年度	178	2.5	4.0	
令和3年度	176	2.5	4.4	
令和4年度	163	2.3	4.9	
令和5年度	190	2.8	6.0	



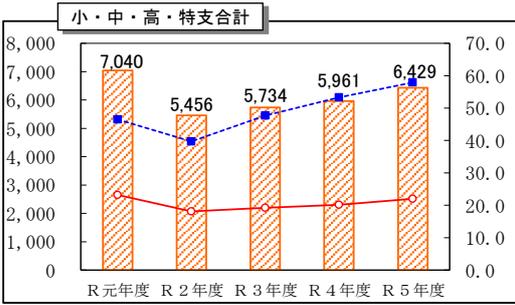
特別支援学校

区分	認知件数		1,000人当たりの認知件数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)	全国 (国公立)
令和元年度	31	11.3	21.7	
令和2年度	13	4.8	15.9	
令和3年度	16	5.8	18.4	
令和4年度	14	5.0	20.7	
令和5年度	12	4.3	22.3	



小・中・高・特支合計

区分	認知件数		1,000人当たりの認知件数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)	全国 (国公立)
令和元年度	7,040	23.2	46.5	
令和2年度	5,456	18.1	39.7	
令和3年度	5,734	19.2	47.7	
令和4年度	5,961	20.1	53.3	
令和5年度	6,429	22.0	57.9	



※ 凡例共通

- 棒グラフ (オレンジ色斜線) 広島県 (国公立) (認知件数)
- 折れ線 (赤線) 広島県 (国公立) (1,000人当たりの認知件数)
- 折れ線 (青線) 全国 (国公立) (1,000人当たりの認知件数)

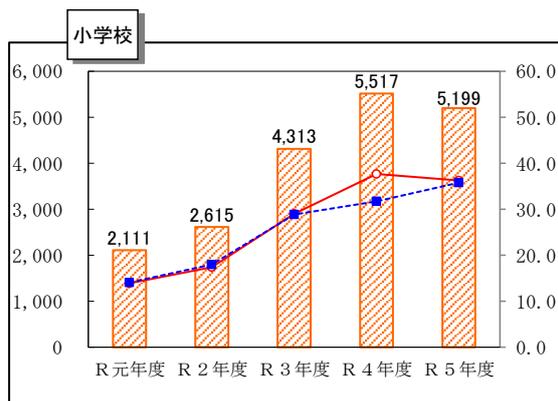
(注) 1,000人当たりの認知件数は、小数第二位を四捨五入している。

小・中学校長期欠席

国公立小・中学校における長期欠席者数等の年次推移（R元年度～R5年度）

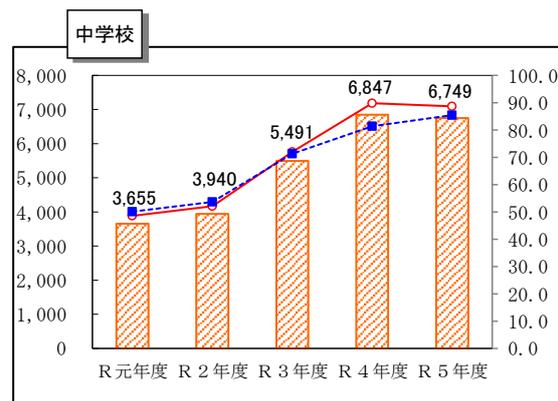
小学校

区分	長期欠席児童数		1,000人当たりの長期欠席児童数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)	全国 (国公立)
令和元年度	2,111	13.9	14.1	
令和2年度	2,615	17.4	18.0	
令和3年度	4,313	29.0	28.9	
令和4年度	5,517	37.7	31.7	
令和5年度	5,199	36.2	35.8	



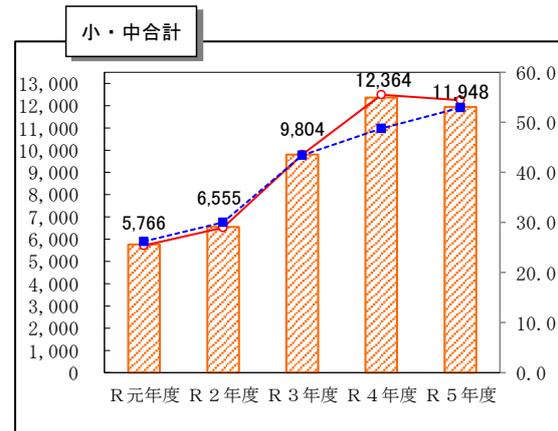
中学校

区分	長期欠席生徒数		1,000人当たりの長期欠席生徒数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)	全国 (国公立)
令和元年度	3,655	48.6	50.1	
令和2年度	3,940	52.1	53.6	
令和3年度	5,491	72.0	71.3	
令和4年度	6,847	89.8	81.3	
令和5年度	6,749	88.7	85.4	



小・中合計

区分	長期欠席児童生徒数		1,000人当たりの長期欠席児童生徒数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)	全国 (国公立)
令和元年度	5,766	25.4	26.2	
令和2年度	6,555	29.0	30.0	
令和3年度	9,804	43.6	43.4	
令和4年度	12,364	55.5	48.8	
令和5年度	11,948	54.4	52.9	



※ 凡例共通

- 広島県（国公立）〈長期欠席児童生徒数〉
- 広島県（国公立）〈1,000人当たりの長期欠席児童生徒数〉
- 全国（国公立）〈1,000人当たりの長期欠席児童生徒数〉

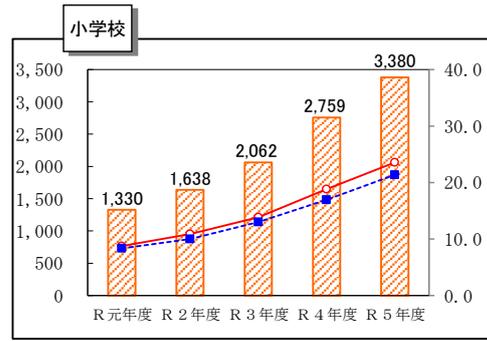
(注) 1,000人当たりの長期欠席児童生徒数は、小数第二位を四捨五入している。

不登校

国公立小・中・高等学校（全日制・定時制）における不登校児童生徒数等の年次推移（R元年度～R5年度）

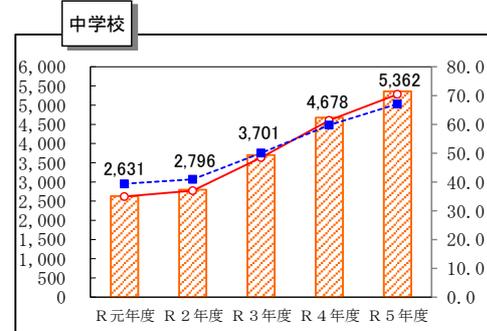
小学校

区分	不登校児童数		1,000人当たりの不登校児童数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)	
令和元年度	1,330	8.8	8.3	
令和2年度	1,638	10.9	10.0	
令和3年度	2,062	13.9	13.0	
令和4年度	2,759	18.8	17.0	
令和5年度	3,380	23.6	21.4	



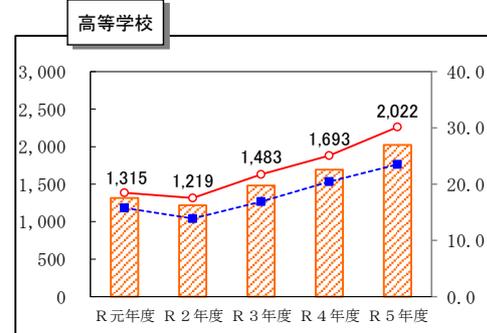
中学校

区分	不登校生徒数		1,000人当たりの不登校生徒数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)	
令和元年度	2,631	34.9	39.4	
令和2年度	2,796	37.0	40.9	
令和3年度	3,701	48.5	50.0	
令和4年度	4,678	61.4	59.8	
令和5年度	5,362	70.4	67.1	



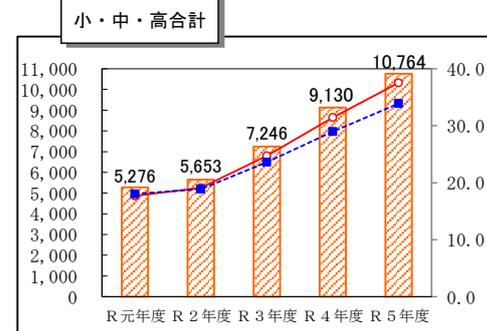
高等学校

区分	不登校生徒数		1,000人当たりの不登校生徒数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)	
令和元年度	1,315	18.5	15.8	
令和2年度	1,219	17.5	13.9	
令和3年度	1,483	21.7	16.9	
令和4年度	1,693	25.1	20.4	
令和5年度	2,022	30.1	23.5	



小・中・高合計

区分	不登校児童生徒数		1,000人当たりの不登校児童生徒数	
	広島県 (国公立)	広島県 (国公立)	全国 (国公立)	
令和元年度	5,276	17.7	18.0	
令和2年度	5,653	19.1	18.9	
令和3年度	7,246	24.7	23.6	
令和4年度	9,130	31.5	29.0	
令和5年度	10,764	37.6	33.9	



※ 凡例共通

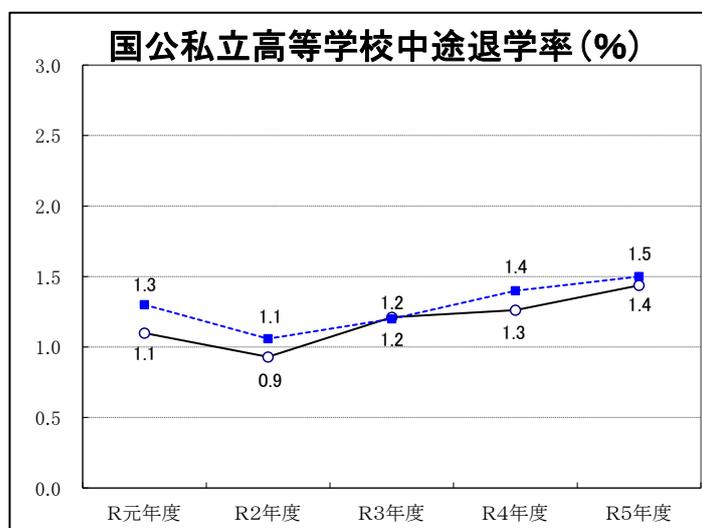
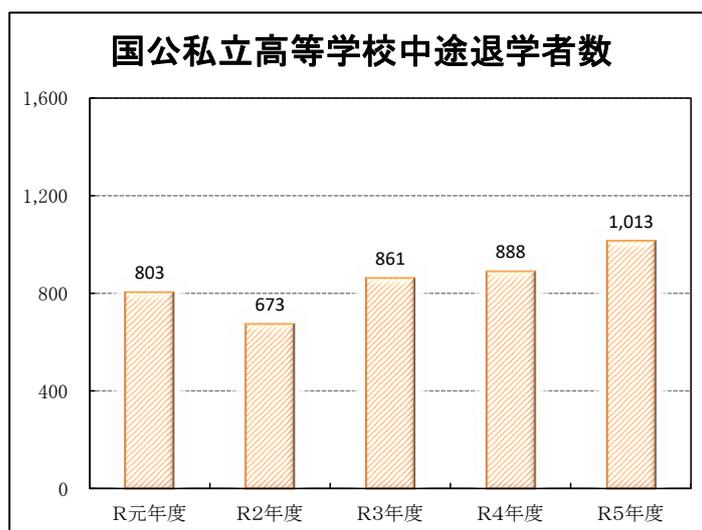
- 広島県（国公立）〈不登校児童生徒数〉
- 広島県（国公立）〈1,000人当たりの不登校児童生徒数〉
- 全国（国公立）〈1,000人当たりの不登校児童生徒数〉

(注) 1,000人当たりの不登校児童生徒数は、小数第二位を四捨五入している。

中途退学

国公立高等学校（全日制・定時制・通信制）における中途退学者数等の年次推移（R元年度～R5年度）

年度	中途退学者数	中途退学率（％）	
	広島県 （国公立）	広島県 （国公立）	全国 （国公立）
令和元年度	803	1.1	1.3
令和2年度	673	0.9	1.1
令和3年度	861	1.2	1.2
令和4年度	888	1.3	1.4
令和5年度	1,013	1.4	1.5



※ 凡例共通

—○— 広島県（国公立）〈中途退学率〉
 -■- 全国（国公立）〈中途退学率〉

（注） 中途退学率は、小数第二位を四捨五入している。